

公開講演会 最新化学談話シリーズ

令和3年度 第1回談話会

分子シミュレーションによるタンパク質分子機能活性化 機構の解明

林 重彦 教授

(京都大学大学院理学研究科)

主催 九州大学理学部化学教室談話会

日時：令和3年 6月 15日 (火) 16時より

場所：オンライン配信：URL 後日通知

内容：膜輸送やシグナル伝達などのタンパク質分子機能活性化は、機能をトリガーするリガンド結合や酵素活性反応などの活性部位での局所的分子イベントと、複雑なタンパク質分子の動的かつ大域的な分子コンフォメーション変化の相関により達成される。従って、タンパク質の機能の分子的性質を理解するためには、それらのマルチスケールな分子的現象の相関を明らかにする必要がある。本発表では、我々の開発した独自の分子シミュレーション手法を用いた輸送体膜タンパク質の活性化、及び MEK キナーゼのリン酸化による反応活性化に関する研究を紹介する。

(注)この講演は大学院集中講義の一部です。

連絡先：九州大学大学院理学研究院化学部門

(世話人) 吉田紀生 (092)802-4133

(事務局) 化学部門等事務室：TEL (092)802-4124